

学校運営計画（4月）				評価（3月）	
学校運営方針		学校のブランド化を目指し、個に応じた特色ある教育活動を行い生徒の可能性を引き出し、きめ細やかで面倒見のよい教科指導、生徒指導、キャリア教育を行う。また、進路実現につながる学力はもとより、コミュニケーション能力や課題解決能力を身につけ、更には一生の仲間づくりと社会性を身につける教育を行う。教育の指導指針として「鍛ほめ福岡メソッド」に基づき、鍛えて（いろいろ試して解決したいと思う心やできないことをできるようになりたいと思う心）、ほめて（取組の結果や取り組んできた過程）、生徒の可能性（学ぶ意欲や自尊感情、向上心やチャレンジ精神、勤勉性や困難に立ち向かう心等）を伸ばし、卒業まで丁寧に指導を行い、地域や社会に貢献できる人材を育てる。			
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
<p>校内組織の連携強化と組織的な校務運営に取り組み、学校教育力の質の向上を図ることで、基礎学力と規範意識の向上に繋がった。また、ものづくり活動や奉仕活動、PTA活動を通して、地域社会との連携を図ることができた。</p> <p>今後は、伝統校に見合う学校教育力の更なる向上と学校のブランド化を図るために、これまでの取組を進化させる。</p>		校訓の意を汲め、母校や地域に愛着を持った生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教科や実習、学校行事、部活動、奉仕活動を通して自立と協働の精神と公の精神の育成 ・体験的、実践的学習を通して自律心と社会性、道徳性を育成 ・学校生活全体を通じた規律指導（道徳教育）を徹底し規範（道徳）意識を育成 		
		自己存在感を与え、生徒一人一人の学ぶ意欲の向上と確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上及び成績不振者の削減と中途退学者の防止に繋がる、きめ細やかな指導 ・より分かりやすい授業のための個に応じた教材の提供とICT等を活用した授業改善 ・生徒の学習意欲の向上と授業改善に活かすことのできる適切な学習評価 ・始業前、終業時の礼節及び授業規律の指導を道徳教育の視点で行い学習環境を整える 		
		自己決定の場を与え、自らが常に能力向上できる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員である誇りと社会性を身に付けさせ、産学連携等の教育活動を推進 ・希望進路を実現させるために、地域産業の人材育成を目指したものづくり活動や資格取得の推進 ・進路実現のためのガイダンス機能の充実 		
		地域との信頼関係を強化し八工生としての誇りと奉仕の心を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の強化と学校の魅力を発信及び中学校訪問や出前授業、ものづくり教室、奉仕活動等を推進 ・教育活動やその成果等の情報公開を中学校訪問や学校HPのリアルタイムな更新を行いPRを強化 		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）		次年度の主な課題
教	教務課	生徒が主体的に授業へ取り組む姿勢づくり	教室又は実習室の整理整頓を行うなど授業環境整備に取り組み、生徒の授業に取り組む姿勢の確立や授業への集中及び積極的な参加を促す。		
		わかる授業の展開	各教科と連携し、基礎学力の定着を図る。また、欠課時数の多い生徒や成績不振生徒に対してのアプローチを積極的に行う。		
		授業時数の確保	曜日や科目内、クラス間の学校行事などによる時数のアンバランスを把握し、平均化する。		
務	庶務課	学校安全と防災教育の充実	防災教育の徹底を図るため、避難訓練の実施・安全教育を年1回以上実施する。また、避難経路の教室掲示を促す。		
		学校行事の円滑な計画・実施	他分掌と連携をとりながら、組織的に準備にあたり行事を行っていく。また、アンケートを実施し次年度に生かす取り組みを行う。		
		資料の管理・円滑な学校運営の補佐	関連文書の管理、他分掌との連携を徹底する。		
		広報活動の充実	学校組織に関わる資料準備を計画的に進め、作成を早期に完了する。		
部	研修課	教職員の研修の計画・実践・記録を充実	課題別研修会を年間3回以上実施し、本校の活性化につなげる。		
			公開授業・研究授業週間を年間3回設定し、教科指導・生徒指導力向上を図る機会を設ける。		
			研究授業後の合評会に積極的な参加や授業見学シートの活用を促す。		
			研究紀要の充実を目指し、次年度以降の教育活動に活用できるよう工夫と改善を行う。		
人権教育の推進と充実		同推進委員会の機能を活性化し、様々な研修を準備、他の分掌との連携を強化・推進し人権教育の充実を図る			

八雅教育の推進と充実

四雅委員会の機能を強化し、様々な形での推進、他の方手での連携を強化し推進し八雅教育の充実を図る。

生徒指導部	生徒指導課	基本的な生活習慣の確立	生徒指導組織図を基に、各部との連携を図りながら、問題行動の未然防止に努め、特別指導者数の前年比20%減を目指す。 組織的且つ継続的に校門指導及び登下校指導を行うとともに学年担当を中心に月1回の服装頭髪検査を実施する。				
		安全意識の向上	登下校及び教育活動全般において、事故件数0を目指し、関係諸機関と連携し安全教育を徹底する。				
		生徒の自発的・自治的活動の充実	学校行事等を通じて自己決定の場を与え、生徒主体の企画等を設定し、自己存在感を育成する。				
		いじめ防止に対する取り組みの充実	日常の観察の充実といじめのアンケート等の実施、関係機関との連携により、いじめの未然防止及び早期発見に努める。				
	保健環境課	心身の健康管理と安全管理の意識の向上	保健委員会活動を活発にし、健康診断業務を円滑に実施する。また、講演などを通して生徒の健康管理意識の向上を図る。				
			授業・部活動・登下校の事故ゼロを目指し指導する。衛生委員会と合同で安全点検を定期的に行う。				
		校内・校外の環境整備に努め、美化意識の向上	年に2回、美化コンクールと美化点検を実施し、生徒の美化意識の向上及び掃除用具の管理を行う。				
			年に2回、全校生徒による校外清掃活動を実施することで、地域への貢献や、道徳精神の育成を図る。				
	教育相談体制の充実	学期に1回の生徒面談の実施と教育相談等の実施により修学支援の充実を図り中途退学等を防止する。					
	生徒会	生徒会活動の充実	月に1回、生徒会役員会を実施し、話し合いの中でコミュニケーション能力の育成を図る。				
			各行事において、生徒会役員全員に役割を与え、組織的に学校行事の運営を行う。				
		委員会活動の活性化	各委員会を定例開催し、各委員長・副委員長を中心に話し合いを行わせ、各委員に自覚と責任を持たせる。				
他分掌と連携を図りながら、委員会活動の充実を図る。							
進路指導部	進路指導課	各学年でのキャリア教育の充実と生徒・保護者への進路情報の積極的提供	各学年での進路研修会を通してキャリア教育を計画的に実施し、生徒・保護者に対する面談等を積極的に行うことにより、進路意識の向上を図る。				
			生徒・保護者に対して本校の就職・進学状況や求人状況を、進路ニュースの発行やホームページへの掲載により積極的に情報提供することで、進路実現の一助とする。				
		第3学年における希望進路の実現と卒業時までのキャリア教育（実社会でのマナー含む）の徹底	インターンシップを通して、仕事の充実感や社会のルールを学ばせ、産業界との連携を図る。また、生徒の希望する企業や過去3年間本校への求人が途絶えている企業に対して積極的に求人開拓を行う。				
			生徒の適性を考慮した就職指導を行い、就職一次内定率90%以上を目標とし、12月末までの就職内定100%を実現する。また、応募前職場見学への生徒の参加を積極的に促し、企業研究を深めさせることで企業と生徒とのミスマッチを防ぐ。				
	図書情報課	読書習慣の定着及び図書館利用・貸出数の向上	社会人としてのマナーや自覚を促す指導を充実させ、入社後に円滑に適応できるよう指導する。また、SNSの使用マナー教育を行い、SNS使用の影響等を生徒に深く考えさせ、実践できるようにする。				
			公務員希望者への手立てを充実させることで、合格率を上げる。大学進学希望者に対して個に応じた受験対策の充実と進学後に役立つ学力補充のための指導を行う。				
		ICTを活用した授業の推進及び視聴覚教育の推進	学期に1回の「朝の10分間読書」の実施、月1回の「図書館だより」の発刊を通して、生徒の読書への関心を高め、読書習慣の定着を図る。				
		校内ネットワーク・情報機器の管理保守	生徒一人あたりの年間貸出数5冊を目指すため、図書委員会を更に活性化させ充実した図書館運営を行う。				
	学校ホームページの効果的運用	授業等におけるICT活用の情報を提供し、職員の実態に合わせた研修や教材研究の事例作成等を充実させ教員に還元する。また、その他の視聴覚教材も充実させ、有効活用を推進する。					
	広報課	地域貢献事業や八工ハッチ・チャレンジプロジェクトによる学校活性化と本校の知名度の向上	校務サーバ・校務PCや生徒用PCを適切に管理し快適な利用環境を確保するとともに、トラブル発生時には迅速な対応を行う。				
			学校PRの窓口となるホームページを充実させるため、他の分掌との情報交換を密に行い常に新しい情報を発信する。また、ホームページの体裁を見直し刷新する。				
			地域貢献事業（まちづくり活性化及びボランティア事業）として、11月に黒崎宿場まつりへの貢献活動、12月に黒崎クリスマスイルミネーションの製作を行う。 また、地域の高齢者へのサポート体制の確立させる。				
ものづくり講座（一般向け／小学生向け学校開放講座）として、本校の施設設備を使用し、本校生徒による指導で日常の教育活動によって培われた知識・技術をもとに、地域の方々に工業高校を体験していただく。また、八幡西区役所と連携して「チャレンジプロジェクト」チームを編成し、生徒の指導による休日開放講座を年間を通じて実施する。							
		本校通称名「ハチコウ」を地域に定着させるため、様々なイベントを検討する。また、イメージキャラクターの着ぐるみの製作を行う。					

第 1 学 年	基本的な生活習慣の確立	欠席者の延べ人数を1クラスにつき、毎月5人以内を目指し指導する。			
		相手の立場や心境を考えられる思い遣いを涵養し、校則を守らせる。			
		教室の環境整備と提出物の期限厳守の指導をする。			
	授業規律と基礎学力の向上	毎時間の授業で礼節の指導を行う。			
		各学期の欠点保持者5名以下を目指し指導する。			
	学校行事・部活動の活性化	体育大会等の学校行事での役割と目標を持たせる。部活動への積極的な加入を促す指導を行う。			
第 2 学 年	基本的な生活習慣の確立及び自他を認める心の育成	1クラスにつき毎月欠席者の延べ人数3人以内を目指し指導する。			
		服装頭髪検査で1次検査全員合格者を目指し指導する。			
	基礎学力の向上と資格取得の推進	各学期末欠点保持者5名以下を目指し指導する。			
		資格取得を奨励し、合格率平均60%以上を目指し指導する。			
	学校行事への積極的参加とリーダー育成	修学旅行を始め諸行事での役割と目標を明確にし、事前・事後の指導を徹底する。			
		生徒会役員としての各科リーダーの早期発見に努める。			
第 3 学 年	社会的規範の体得	基本的な生活習慣を確立させ、出席皆勤者100名以上を目指し指導する。			
		服装頭髪検査で1次検査全員合格者を目指し指導する。			
		交通安全・交通マナーを中心に校内外で安全教育の徹底を図る。			
	希望進路の実現	希望進路の早期達成、就職内定率100%を目指し指導する。			
		就職・進学試験に向けて対策を行い、意識の向上を図る。			
		進路指導部や各科・各教科と連絡を密にとり、細やかな進路指導を行う。			
最上級生としての自覚と責任ある行動力の育成	生徒会役員とブロックリーダーが連携し、まとまりのある学年集団を育てる。				
機 械 科 系	基本的な生活習慣の確立	時間厳守、人の話を聞く態度等、けじめを付けて行動させる。			
		マナーやルールを守ることが出来る人材の育成を目指し指導する。			
		使用した工作機械の整備、工具の整理整頓、ごみの分別処理など、5Sを考えた行動ができる生徒を育成する。			
	安全教育の徹底	安全に対する心構えや、重要性を認識させる。			
		始業点検を行い、安全に作業が出来る準備を徹底させる。			
		実習工場を整理(修理)し、安全・有効に使えるようにする。服装や保護具の着用を徹底し、実習での事故を無くす。			
	ものづくりを通じた工業に関する興味関心を醸成	1年次の計算技術検定3級、情報技術検定3級の合格率90%以上を目指し指導する。			
		基礎製図検定の合格率50%以上を目指し指導する。			
		実習、課題研究、講座を通して、ものづくりの楽しさを教える。			

機 電 子 機 械 科 系	基本的生活習慣の確立と社会人としてのマナー及び安全行動できる生徒の育成	個に応じた指導を充実させ、前年度より遅刻・欠席・早退数の減少を目指し指導する。また、日常的に挨拶指導を行う。			
		安全指導を徹底することで、実習や各行事での事故および災害を0件にする。			
	進路実現につながる資格取得指導の充実	1年次の計算技術検定3級・情報技術検定3級の合格率90%を目指し指導する。			
		乙種4類危険物取扱者の2組全体での取得率60%を目指し指導する。			
		2年次の第2種電気工事の合格率80%を目指し指導する。			
		2年次の2級ボイラー技士の合格率85%を目指し指導する。			
各競技大会への積極的な参加と知識、技術の向上	3年生において、卒業時までにはジュニアマイスターブロンズ60%、シルバー40%、ゴールド15%のそれぞれの認定を目指し指導する。				
	ものづくりコンテスト（旋盤・電気工事・木材加工）、溶接技能競技大会に参加し、内2つ以上の入賞ができるように指導環境及び内容の充実を図る ロボット競技大会等、ものづくりに関わる競技大会に2種以上に参加し、決勝進出または入賞できるように指導環境及び内容の充実を図る				
機 材 科 技 術 科 系	基本的生活習慣の確立	時間を守り、今すべきことは何か考え、当たり前前かがり前かがりにできる生徒を育成する。			
		5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底を目指し指導する。			
	基礎学力の向上と希望進路の実現	1年次の計算技術検定3級・情報技術検定3級の合格率90%を目指し指導する。			
		進路指導部との連携により、就職・進学を希望する生徒の進路内定率100%を早期に実現させる。			
		担任・教科担任間の連携を密にして、生徒のスキル・適性を把握しその能力にふさわしい就職指導を行う。			
	安全教育の徹底	実習工場の整理整頓を徹底し、実習服の正しい着用や保護具の着用を確認し、安全への理解を深める。			
安全な作業の重要性を実習等を通して徹底する。					
電 気 科 系	資格取得推進	第二種電気工事士の合格率60%以上を目指し指導する。			
		計算技術検定3級、90%、情報技術検定3級、70%以上の合格率を目指し指導する。			
		電気主任技術者、第一種電気工事士、工事担当者取得への意欲を喚起する。			
	希望進路の全員実現	進路指導部と協力して、進路研修を4回以上行う。			
		進路相談を含めた面談及び、面接練習を1人10回以上実施する。			
広報活動の充実	出前授業等を5校以上に行い本校電気科への興味関心を高める。				
土 木 科 系	基本的生活習慣の確立	生徒に関する情報交換を学級担任と密に行うことで、個に応じたサポート体制を確立し、各クラスで出席皆勤者20名以上を目指し指導する。			
		移動教室授業や学校行事等の際に、遅れることがないように時間厳守（5分前行動）を徹底させる。			
	基礎学力の向上	土木に関する理解を深め希望進路実現を果たすために、学ぶことの必要性を理解させ、基礎学力の向上につながる指導を行う。			
		教科担任との連携・協力を積極的に図り、成績不振者数を0名にする。			
	資格取得率の向上	測量技術認定試験の合格率70%以上を目指し指導する。			
		2級土木施工管理技術検定の合格率30%以上を目指し指導する。			
測量士補の合格率30%以上を目指し指導する。					